

花交の滝

鬱蒼とした林に囲まれた庭園の東側にある滝は、花交の池に流れています。南門付近の藤棚から庭園南端の花交の池へと東へと続く小道沿いには、木々が続いています。木々は高く、葉は生い茂っています。

流れの速さや強さを調整するために岩が戦略的に配置されており、山の滝のような細い小川に沿って遊歩道が整備されています。池に降りると、滝の迫力ある音が響き渡ります。

庭園が造られた当初、滝や池の周りには山桜や花の咲く低木が四季折々に咲き乱れていました。滝の名前である「花交」とは、もともとの地にあった風景を眺めるための小屋の名前であり、「いろいろな花」という意味です。かつてここが花の名所であったことを、名前が物語っています。